



「ともにあゆみ ともにかがやく」

～地域にかがやき発信する清水特支～

「学校運営協議会の取組」

本校では、令和4年度より「学校運営協議会」という組織で、清水特支の子どもたちがさらにかがやくために何ができるかを話し合っています。メンバーは、学校側の管理職等の他、福祉団体の理事長、飯田地区の自治会長、社会福祉協議会委員長、障害者雇用担当者、市職員、学識経験者、PTA会長の方々です。年間4回の会合の中でそれぞれの立場から知恵を出し合い、子どもたちのかがやきを地域に発信する方策を考えています。

昨年度の学校運営協議会でいただいた提言から、実現してきた取組を一部だけですが紹介します。

【児童生徒の作品展示】

児童生徒の絵画作品を、飯田交流館、八坂町文化展、就労施設、銀行店舗等の御協力により展示しました。

銀行店舗の展示作業は生徒が自ら行い、展示完了後には、行員の皆さんが業務の手を止めて作品を鑑賞してくださいました。



【清水特支の良さを発信】

高等部生徒が出身中学を訪問し、清水特支の自慢や高等部ではどんな生活をしているかを紹介しました。

【お茶プロジェクト】

この取組は、平成22年の開校以来、本校が取り組んでいる活動です。子どもたちが摘んだ茶葉を、地域のお茶屋さんが紅茶に加工してくださり、それを生徒たちが計量しパックに詰めました。衛生面に気を付けて正確に取り組み、約150セットができました。この紅茶パックは、来校されたお客様にお土産としてプレゼントしています。



「学習の取組」

小学部

小学部は学校生活の入り口であり、日常生活や社会生活の基礎基本となる力を身に付けるとても大事な時期です。

まずは児童が「学校に行きたい。」「友達と遊びたい、勉強したい。」と思えるように、教師と一緒に活動することで安心できる関係を築くこと、友達と一緒に取り組むことで楽しさを共有すること等を通して、「やった!」「できた!」の場면을たくさん積み重ねていきたいです。さらに「もっとやりたい。」という意欲を引き出し、繰り返し活動していく中で、自分でできるという自信や行動力を身に付けられるようにもしていきたいと思えます。

そして、新しいことにチャレンジしながら、関わる人やものを広げ、集団や地域社会の中で元気に遊び、関わり、学んでいきたいと思えます。

また、個別の教育支援計画に基づいた“がんばりカード”に取り組みながら保護者の皆様との連携を図り、家庭と学校が教育パートナーとして協働して取り組んでいきたいと思えます。

小学部主事 廣 国睦



1年遊びの指導
「すべり台であそぼう!」



地域の方と自治会館での交流

中学部

中学部の3年間は心も身体も大きく成長する時期です。小学校で培った力を基盤にして、健康でたくましい体を作ること、目標に向かって最後まで取り組む気持ちを伸ばすことを大切にしています。生徒たちは、登校すると、朝のトレーニングに励みます。グラウンドを走ったり、教室で体幹を鍛える運動に取り組んだりしています。(中学部から始まる)作業学習では、ものづくりに取り組むことで作る喜びや達成感を味わいます。自分たちで作った製品を販売し、多くの人買い求める姿を見ることで、人の役に立っていることが実感できます。人に喜ばれる経験を積むことは自信や自己肯定感の向上につながります。将来、はたらく人になるための基礎としての意欲や態度を身につけることができます。

また、仲間と共に活動することで、自分の意思を伝えること、人の気持ちを知り、受け入れることを学んでいきます。そして学校生活の中で仲間と共にできるようになった力を地域に広げ、地域を学びの場として、より多くの方々とかかわり社会生活に必要な力を身につけていきます。「清水のじまん弁当を作ろう」という、地域の産業を学び特産物を調べお弁当のメニューを考える学習や清掃活動に取り組み、地域の役に立つ喜びも学んでいきます。

中学部主事 山本月乃



作業学習 「作業製品販売会」
自分たちで作った製品を販売しよう



生活単元学習
「清水のじまん弁当を作ろう」
農家を訪ねて特産物調べ

高等部

高等部は「社会への移行期」であることを十分に踏まえた上で、生徒が卒業後「地域社会で生き生きと暮らす人」になるために、「生活する力」「かかわる力」「はたらく力」の3つの力を身に付けることが必要と考えています。

「生活する力」は、体力の向上や健康の維持増進といった基本的な生活習慣を身につけ、職業、家庭、保健体育等の学習の中で、働く意義、調理や買い物、金銭管理、健康についての知識など個々の目標にあった活動に取り組みます。「かかわる力」は、社会参加に向けてより良い人間関係を築くことができるよう、コミュニケーションの力を育てていくと共に、相手を思いやる心、場や人に応じた言動も身につけられるように国語、特別活動、道徳等や、日常生活全般で取り組んでいきます。「はたらく力」は作業学習（ものづくり）や「家庭や地域に根ざした学習」（ちいき）に加え、産業現場等における実習（職場実習）で、勤労観や就労観を養うことができるよう取り組みます。「余暇の過ごし方」については職業、総合的な探求の時間だけではなく放課後の部活動での経験も大切にしています。

高等部での生活を通して、将来の夢を見つけ、その実現に向けて自分から取り組もうとする姿を引き出していきたいと考えます。そして意欲的に活動できる態度や体力を育み、仲間や地域生活での活動を楽しむための社会性や豊かな感性を高められるよう、授業に取り組んでいきます。

高等部主事 中澤裕司



職場実習許可書の授与

「12年間がつながる進路指導(キャリア教育)」



現在の子ども、特に若者と呼ばれる世代は、若者の完全失業率や非正規雇用率の高さ、無業者や早期離職者の存在、コミュニケーション能力など職業人としての基本的な能力の低下など、「社会的・職業的自立」に向けて課題が見受けられる。

その中において、学校教育は重要な役割を果たすものであり、キャリア教育という文言が公的に登場し、小学校段階から発達段階に応じて実施する必要があるとした。キャリア教育は、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育と定義した。

人は、他者や社会とのかかわりの中で、職業人、家庭人、地域社会の一員等、様々な役割を担いながら生きている。自分の役割を果たして活動すること、つまり「働くこと」を通して、人や社会にかかわることになり、そのかかわり方の違いが、「自分らしい生き方」となっていくものである。

(平成23年の中央教育審議会の答申より)

人は自立して生きたいと願いつつも、一人で生きていくことは難しいため、私たちは他者に支えられながら、他者を支える関係の中で暮らしています。「社会参加」においては、その人が人間関係や興味関心を広げ、将来にわたり楽しみややりがいを見つけ、自分らしく生き生きと生活できるようにすることが目的です。そのためには、好きなことややりたいこと、得意なことを少しずつ増やしていくことが大切です。

清水特別支援学校では、小学部1年から自分でできることに取り組み、役割を果たしながら、中学部、高等部と12年間を通して主体的に取り組む「意欲」を育てており、学校の中には、児童生徒の「やった」「できた」「もっとやりたい」があふれています。これからの社会は人工知能の発達により予測困難な時代となっていくと言われてはいますが、児童生徒たちが主体的に取り組む、なりたい自分、ありたい自分、自分らしい生き方を見つけていくことができる進路指導、進路学習を目指しています。

進路指導主事 伊藤省吾

日	曜	7月	曜	8月	曜	9月
1	土		火		金	小3) 歯科授業
2	日		水		土	
3	月	小3 4) 参観懇談会 高2) 実習後面談	木		日	
4	火	小2 5) 参観懇談会 高1) 職場見学	金		月	小) 発育測定
5	水	小6) 参観懇談会 小) 体験入学②	土		火	小) 発育測定
6	木		日		水	小中) 個別面談
7	金		月		木	小中) 個別面談
8	土		火		金	小中) 個別面談
9	日		水		土	
10	月		木		日	
11	火	小3 4) お話の会 高1) 交通安全教室 高3) 校外学習	金		月	
12	水	小) 体験入学(予備日) 高2) 交通安全教室	土		火	小4) 飯田ボランティア 小5 6) お話の会 中) 体験入学③ 高2) 校外学習
13	木	高3) 交通安全教室	日		水	小) 体験入学③ 小6、中3) 修学旅行事前検診 中) お話の会
14	金	高) 消費者教育 スクールカウンセラー来校②	月		木	
15	土		火		金	中) 体験入学④
16	日		水		土	高) 学校公開
17	月		木		日	
18	火	小6) 飯田ボランティア 中1) 歯科授業	金		月	敬老の日
19	水		土		火	高) 振替休業日
20	木	給食最終日	日		水	小) 体験入学④ 中2) 参観懇談会 中3) 参観懇談会・ 修学旅行説明会
21	金	1学期終業式	月		木	中1) 参観懇談会
22	土		火		金	
23	日		水		土	
24	月	夏期休業日(～8/25)	木		日	
25	火		金		月	高3) 職場実習 高1 2) 個別面談
26	水		土		火	小6) 校外学習
27	木		日		水	小) 体験入学(予備日) 小5) 校外学習(るくる)
28	金		月	2学期始業式	木	小3) 「やってみよう」 宿泊無し・学校夕食
29	土		火		金	スクールカウンセラー来校③
30	日		水	高) 発育測定	土	
31	月		木	小1 4中1高1) 引き渡し訓練 中) 発育測定		